

正しく分別して、ごみを減らしましょう！

～ごみの減量化をめざして～

現在のごみの分別区分は、ごみの減量と資源化のため、平成22年10月にスタートし、多くの市民の皆さんのご協力により、順調にごみの資源化が進んでいます。

ごみの資源化の指標となるリサイクル率は、平成21年度の10.52%から大きく伸びて、平成25年度は23.11%となりました。

また、誤った分別がされ、黄色い「お願いシール」が貼られた「未回収のごみ袋」については、平成23年度11,080件あったものの、平成25年度では5,236件まで減少し、適正な分別が着実に市民の皆さんに浸透していますが、不適正な分別による排出は、一向に無くなっていません。

いま一度、「根室市ごみ分別ガイドブック」（平成23年7月）をご確認して、「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」を減らし、「資源ごみ」を増やすように心掛け、正しい分別による「ごみの資源化」を進めましょう。

ごみ処理にかかる費用

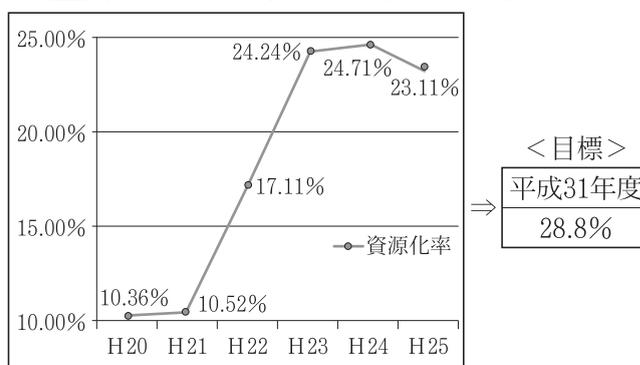
根室市で排出されるごみの処理費用は、平成25年度実績で年間約4億7,800万円となり、市民一人当たりになると約17,000円になります。

処理経費はごみ処理手数料と資源ごみ（有価物）の売払代金、そして税金でまかなわれています。

ごみが増えると処理経費も増えることとなり、その他市民サービスにも影響する問題となりますので、市民の皆さん一人ひとりがごみの減量化に取り組む必要があります。



根室市のリサイクル率の推移



<目標>

平成31年度
28.8%

<間違った分別例>

燃やせるごみ(可燃ごみ)

お菓子の箱などの紙製の箱や包装紙が入っている。
・お菓子やティッシュペーパーの箱は紙製容器包装(紙)です。包装紙などと一緒に資源ごみ「紙」に分別しましょう。

燃やせないごみ(不燃ごみ)

スプレー缶やカセットボンベが入っている。
・中身を完全に抜き、穴をあけて「資源ごみ」(空き缶)に。
※スプレー缶やカセットボンベは中身が残っていると収集車の火災の原因になりますので、必ず完全にガスを抜いたうえで穴をあけて空き缶で出してください。

資源ごみ

「ビン」に哺乳ビン・窓ガラスなどのガラス製品が入っている。

・哺乳ビンや窓ガラスはガラス製品なので「燃やせないごみ」(青い袋)です。

※特に哺乳ビンなどの耐熱性ガラスの製品やガラス製品が混ざるとリサイクルできなくなってしまうので、絶対に混ぜないでください。

「紙(雑紙)」にティッシュペーパーや包装ビニールが入っている。

・ティッシュペーパーは「燃やせるごみ」(赤い袋)です。ビニールはマークが付いていれば「プラスチック製容器包装」です。

※資源ごみは 汚れを落としてから きちんと分別しましょう。